

〈県連行事報告〉 第43回近畿ブロック搬出技術講習会

初級コンパニオンレスキュー

日時 2024年4月6日(土) 9時~15時 曇り

参加者 CL I井 S水 K林 S田 H浦 H池(記録) K藤 (スタッフ)

場所 大文字山安祥寺林道入口付近

滋賀県連が当番で開催されました。京都からのスタッフ、参加者も多く、大阪、奈良からも来ておられました。総勢40名弱。5組に班分けされていて、講師3、4人に、受講者3、4人とほぼマンツーマンで、とても恵まれた編成でした。

9時開会で、1時間ほど簡易ハーネスの作り方、エイトノット、クローブヒッチの練習をしました。以前に習ったけど、すっかり忘れていたことばかりです。思い出しました。上手く出来るようになりました。嬉しい。

次にカラビナスルーの練習。スタッフが事前にロープを設置してくださっている場所に移動。カラビナスルーとはクサリ場や傾斜のきつい斜面を水平に通過するときにスリングを鎖にかけて落下しても下まで落ちないように安全確保する技術です。

昼食後は斜面の上り下り。滑落した人を見に行く時とかに輪っかを肩幅間隔に作った細引きを投げ下ろし、スリングを掛けて安全を確保しながら、急な斜面の上り下りするという練習。

両方とも、カラビナを架け替えながら進むのですが、スリングと細引きが絡まる、次の輪っかに届かないなど悪戦苦闘。でも、そればかりに気を取られないで自分の足でしっかり安全な場所を踏む。慌てない。ロープより下に立ち、スリングを弛ませない。

普段行かないような急な斜面で緊張しましたが、スタッフの方がそばで細かくアドバイスしてくださり、安心して恐ろしい体験ができました。

最後にけが人搬送のための担架作り。園芸用ネットにストックか倒木を通して担架を作りました。京都府連が考えられたそうですが、腰の部分にスリングを渡して支えにするとか滋賀県連の方が改良されたところも紹介され、かなりグレードアップしていました。私がけが人役になって 500メートル程運んでもらいましたが、安定していて快適でした。

リュックを補助に使っておんぶする方法も紹介され、一日の講習が終わりました。

全国連盟の川島理事長が来ておられ、開会の挨拶をされました。安全登山に対する熱い思いに溢れていました。「ヘルメット着用は、使い方がわからないということがなく、安全登山に繋がる。」という言葉はナルホドです。

スリングは何かと使えることが分かりました。リュックに入れておきましょう。

それから、例えば 120 センチのスリングというのは、輪っかの半分の長さということも、初めて知りました。

